





発生箇所	②横目地	
分類	材料・施工	
参考箇所	4-5-3 コンクリート版用素材	
●内容	<ul style="list-style-type: none"> 目地付近に目地に平行なひび割れが集中して発生した。 目地付近を開削調査したところ、目地からコンクリート版に水平クラックが広がっていた。 	
●原因	<ul style="list-style-type: none"> 詳細調査の結果、アルカリ骨材反応（ASR）によって骨材が異常膨張したことが原因であった。（骨材のアルカリ骨材反応について試験を実施していない時期に建設されていた。） 凍結防止剤として使われる塩化ナトリウム溶液が目地部より浸透することで、アルカリ骨材反応が促進した。 	
●発生防止策	<ul style="list-style-type: none"> 適切なアルカリ骨材反応抑制対策（①コンクリート中のアルカリ総量規制，②抑制効果のある混合セメント等の使用，③安全と認められる骨材の使用）を実施する。 塩化ナトリウムや塩化カリウムなどからなる，アルカリ骨材反応を促進する可能性がある凍結防止剤や融雪剤などを使用する場合は，無害な骨材を使用する。 	
●発生した場合の対応策	<ul style="list-style-type: none"> アルカリ骨材反応の進展を確実に止めることは困難である。 損傷が著しい目地付近の局部打換えを実施するのが1つの方法である。（タイバーを切除し，目地を左右に新たに設ける。新しく設けた横目地はダウエルバーにより荷重伝達機能を確保する。） 	 <p>(a) 補修状況</p>  <p>(b) 補修後</p>